



2025 年 10 月 30 日

各 位

会 社 名 丸 八 証 券 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 鈴木 卓也
(コード：8700、東証スタンダード)
問合せ先 常務執行役員 マネジメント本部長
津坂 聡
(TEL. 052-307-0850)

中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、この度 2025 年度から 2027 年度までの 3 ヶ年（2025 年 4 月 1 日から 2028 年 3 月 31 日まで）を対象とした、新たな中期経営計画を策定いたしましたのでお知らせします。

記

1. 経営計画策定の趣旨

個人金融資産 2,200 兆円を超える我が国において、国民生活をより豊かにするとの観点から

- ① 世界情勢の変化
- ② 資産形成の必要性
- ③ 少子高齢化の進展

これらの変化に対応し、当社がお客様と共に発展していくための「進むべき方向」と、その「戦略」を示すものです。

2. 経営方針

【基本理念】

「未来の安心のために」

お客様へ 堅実な資産形成と喜びを
株主様へ 永続的な成長と喜びを
従業員へ 考え働く幸福と喜びを
社 会 へ 地元愛知への貢献と喜びを

【基本方針】

経営：透明性の高い明確なコーポレート・ガバナンス（企業統治）の確立
営業：お客様を第一に考えた収益の最大化の確立
管理：業務水準の均一化による付加価値向上の確立

3. 経営戦略

2022年9月30日開示いたしました「中期経営計画の策定に関するお知らせ」にある、中期経営計画での経営戦略として掲げた「営業基盤の拡大」「推進体制の強化」「収益構造の安定」を引き続き目指し、展開いたします。

- ①「営業基盤の拡大」 地域に密着した店舗展開と人員配置により、お客様との対面を中心としたハートフルな対応による満足度向上に努めます。
- ②「推進体制の強化」 IT、DXの更なる活用を通して、お客様にとっての利便性向上による満足度向上に努めます。
- ③「収益構造の安定」 社員の資質向上に努め、社員ひとりあたりの生産性向上を図ること、また費用構造の見直しから収益構造の安定化に努めます。

4. 重点施策

- ① 資産運用の高度化
- ② 資産形成支援の強化
- ③ 世代間の円滑な資産承継

5. 数値目標《2028年3月末》

- ① 預り資産 360,000 百万円 (249,091 百万円)
- ② 自己資本利益率 (ROE) 8 % (5.1 %)

※ () 内は 2025 年 3 月末の数値

以上



中期経営計画

－未来の安心のために－

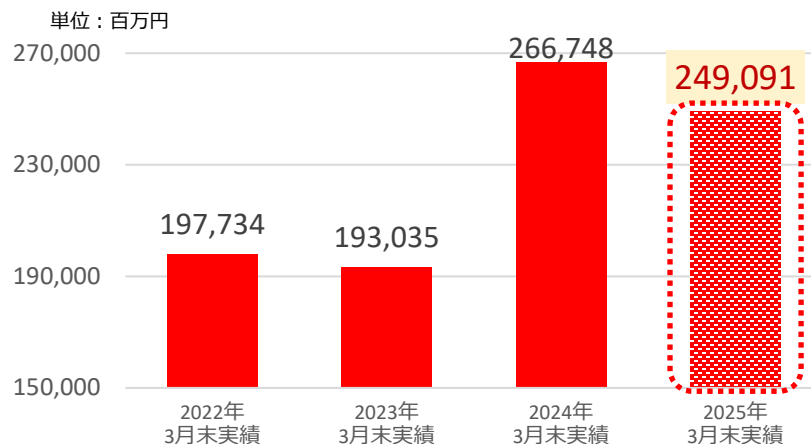
2025年度～2027年度

丸八証券株式会社

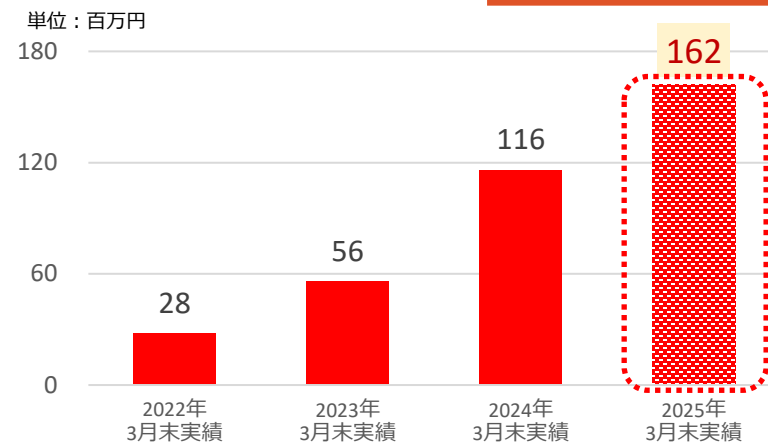
前中期経営計画振り返り（2022年度～2024年度）

■ 数値目標

■ 預り資産

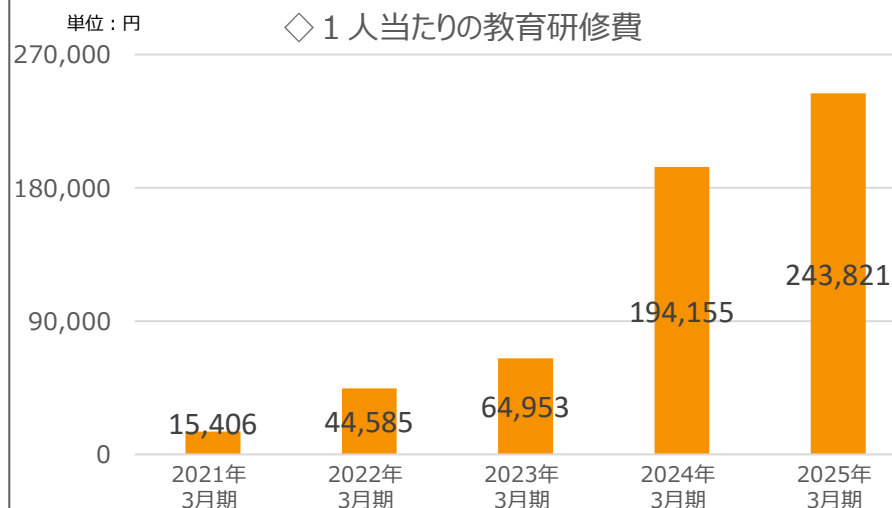


■ 積立金額（月間）

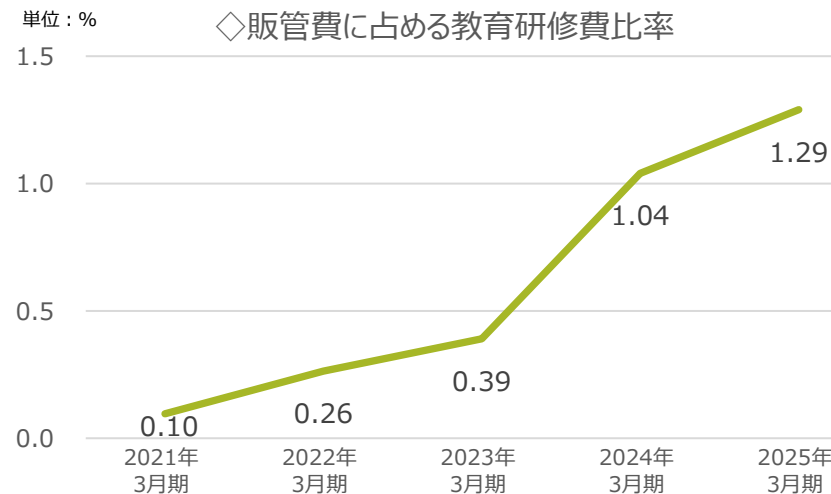


■ 営業員の更なる資質向上

◇ 1人当たりの教育研修費



◇ 販管費に占める教育研修費比率



新中期経営計画

持続可能なビジネスモデル

コーポレートガバナンスコード

1. 株主の権利・平等性の確保
2. 株主以外のステークホルダーと適切な協働
3. 適切な情報開示と透明性の確保
4. 取締役会等の責務
5. 株主との対話

人的資本経営（開示4要素）

1. ガバナンス
2. 戦略
3. リスクマネジメント
4. 指標と目標

企業価値
向上

役社員の
成長

「稼ぐ力」を強化する取締役5原則

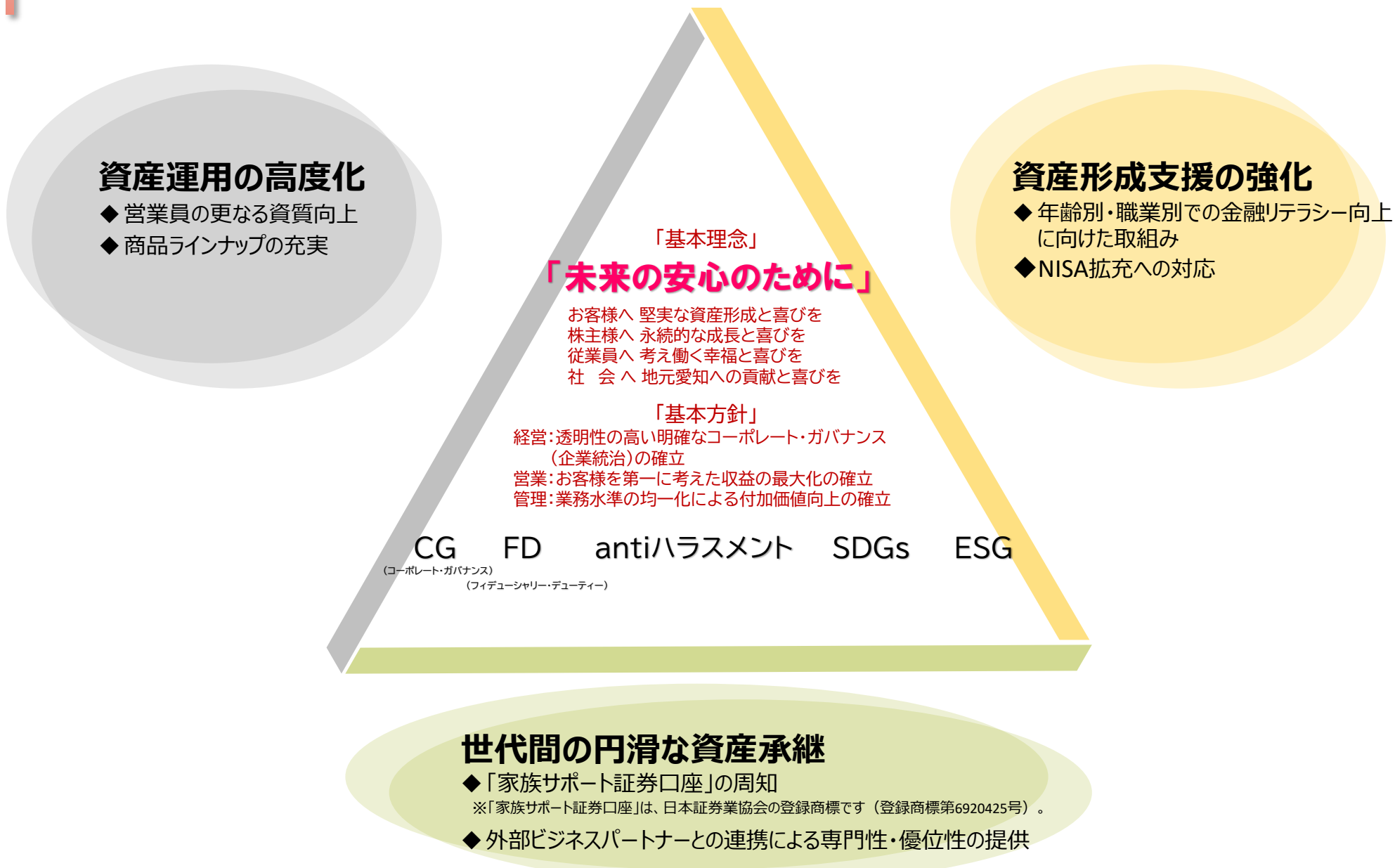
1. 価値創造ストーリーの構築
2. 経営陣による適切なリスクテイクの後押し
3. 経営陣による中長期目線の経営の後押し
4. 経営陣における適切な意思決定過程・体制の確保
5. 指名・報酬の実効性の確保

内部統制

1. 業務の有効性・効率性
2. 財務報告の信頼性
3. 法令遵守
4. 資産の保全

時価総額増加／顧客満足度向上

新中期経営計画-重点施策～課題認識・企業価値向上に向けて



新中期経営計画-数値目標 (2025年度～2027年度)

項目	目標
預り資産	360,000百万円
R O E	8.0%

